

.....

# うきたむ考古通信

.....

2019年1月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

あけましておめでとうございます。館職員一同、誠心誠意運営にあたっていくつもりですので、本年もよろしく願いいたします。

## 館事業報告

### 👤 第20期考古学セミナー終了

今年度の企画展である『古代から近世の木簡と木製品～木は語る～』のテーマに沿った第20期考古学セミナーが終了しました。多くの会員の皆様にも受講していただきました。

〈第1回〉9月30日(日) 受講者17名

「古代の木製品－建築部材・祈り・文字－」

佐藤庄一氏 (山形考古学会会長)

「大在家遺跡の木製品と文字資料」

井田秀和氏 (元高畠町教育委員会)

〈第2回〉10月14日(日) 受講者13名

「上高田遺跡の木製品と文字資料」

齋藤 健氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「中近世の木製品と文字資料」

高桑 登氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第3回〉11月4日(日) 受講者15名

「馳上遺跡の木遺品と文字資料」

渡辺和行氏 ((公財)福島県文化振興財団)

「古志田東遺跡の木製品と文字資料」

手塚 孝氏 (米沢市教育委員会)

### ♥ 勾玉・弓矢・石器、古代風ブレスレットをつくろう

5月19日、7月14日に続き、今年度最後の3回目となる勾玉づくり、弓矢づくり、石器づくりが、そして6月23日に続き2回目となる古代ブレスレットをつくろうが11月3日(金)文化の日開催されました。

勾玉づくり、弓矢づくり、石器づくりには延べ 54 名が、古代風ブレスレットづくりには 12 名の参加がありました。

今年度の勾玉・石器・弓矢づくりとも、昨年度実績から大幅に参加者を減らしました。来年度に期待したいと思います。

## 秋の遺跡めぐり

当初予定の 10 月 28 日(日)に全日本競歩大会でバスの手配ができず、日程が延期された秋の遺跡めぐりは 11 月 17 日(土)に行われました。春に続き縄文の森広場の篠原信彦所長さんの案内で仙台市の北部の遺跡と展示施設をまわりました。

最初は瑞鳳殿、初代藩主伊達政宗公の墓所で復元された建物の説明を受けた後、ボランティアガイドさんの丁寧な説明(彫刻の阿吽の姿など)を拝聴して参拝し、展示施設である資料館を見学し、二代、三代藩主の墓所である善応殿、感仙殿を見学・参拝しました。

その後、仙台市博物館に移動し常設展と「戊辰戦争 150 年」の特別展を見学しました。特別展の資料が多く 1 時間の滞在時間では見切れなかったことは残念でした。

続いて国際センターのレストランで昼食、その後、仙台城本丸へ。参加者のほとんどが久しぶりに訪れたとか。壮大な大広間跡の野外展示と見聞館や、仙台城下の展望を楽しみました。

その後、中世城館の史跡岩切城へ、整備された曲輪群や、切岸の高さに圧倒されました。桜の季節に再訪したいという声も聞かれました。

台ノ原古窯跡群を車中から見学し、最後に与兵衛沼半地下式ロストルの説明を現地を受けて今回の遺跡めぐりを締めくくりました。



瑞鳳殿での説明と記念撮影



仙台市博と岩切城跡での記念撮影

## 📌企画展記念講演会から

平成 30 年 11 月 18 日(日)「出土文字資料と古代出羽国—山形県域を中心に—」

講師 十川 陽一氏 (山形大学准教授)

今年度の企画展講演会は十川陽一先生の「出土文字資料と古代出羽国—山形県域を中心に—」の演題で開催されました。

最初は「古代における文字と木簡」と題し(1)律令国家の支配と文字、(2)出羽国の成り立ちと文字についてのお話でした。日本ではこれまでに 50 万点以上の木簡が見つかり、それを見ると民衆支配や土地管理・徴税のための戸籍や計帳、都鄙(都と地方)間の意思疎通のための官符など多様であるということです。また、出羽国関係の出土文字資料を見ると平城宮から「裳上郡」、神亀五年の勤務評定である出羽国郡司考状帳が出土しており、県内の遺跡では酒田市の生石 2 遺跡の年齢を記した漆紙文書、鶴岡市山田遺跡の「駅子」記した木簡、米沢市大浦 B 遺跡の漆紙文書の具注曆等があり、出羽国ではこれまで 200 点余り(そのうち古代は 50 点ほど)が出土しているがこの数は陸奥国の半分ほどということです。

つぎに「仏教と文字」と題して出羽国内での蝦夷や俘囚への仏教の拡大が日本書紀や日本三大実録で知ることができること、そして「四天王法会」が国家財源を用いて執り行われていたことが出土した木簡や墨書土器から知ることができるということでした。

「出土文字資料からみた古代の山形県域」では、山形市今塚遺跡の仁寿三年の紀年銘がある第一号木簡は上意下達の文書様式をもつ郡符木簡であり、墨書土器から郡司子弟など在地の有力者そうであった書生の存在が想定でき、米沢市古志田東遺跡の木簡や河北町熊野台遺跡の須恵器に刻書された文字から最上・置賜地域では労働力を差配する有力者がいたことが想定できるとのことでした。また、元慶の乱が勃発する前の貞観六年頃から現在の秋田県域の蝦夷を懐柔させるための饗応が盛んに行われていたということが続日本紀や延喜式、秋田城出土の木簡から読み取ることができるということでした。このための財源は安定した生産地帯であった南出羽(山形県域)諸郡と一部秋田県域の郡が担ったということが各種文字資料から読み取れるということでした。

## ♥ガラス玉をつくろう、カラムシで布をつくろう

6 月 1 日(土)に続き今年 2 回目が 12 月 1 日(土)に開催されました。三つの時間帯を設定して開催しましたが、各時間帯合計で 9 組 21 名の参加がありました。

カラムシで布をつくろうには 4 名の参加者がありました。

## ♥大人の自由研究(後半)

7 月 21 日にカラムシから採った繊維を簡易な織機でコースターに仕上げるという後半の体験学習が行われました。9 名の方が参加しましたが、当初予定にはなかった糸撚りに挑戦された方もありました。来年度は今年春に植えた青苧が使えるようにしたいと思っています。

### 館共催事業の報告

## 📌第ⅩⅢ期うきたむ学講座特別講座

うきたむ学講座実行委員会との共催で 11 月 10 日(土)に高畠町教育委員会の協力を得て、次頁の講座が行われました。

「高島町の石像文化財を探る」

加藤 和徳氏(日本民俗学会・日本石仏協会)

「下張りを剥がす」

小林 貴宏氏(高島町教育委員会)

県内各地の石像文化財研究をリードする加藤氏からは、まず板碑についての基本的な解説が行われた後、山形県内の板碑の分布についてのお話がありました。山形県内の板碑の数は現在まで1,557基が確認されており、この数字は宮城県の約3,000基、福島県の1,800基に次いで東北では3番目に多く、県内では置賜が983基と全体の約63%を占めるという。

その後、高島町の板碑について網羅的な説明がありました。次に庚申信仰、庚申縁起と三戸<sup>さんし</sup>の解説があり、町内の三戸塔が紹介されました。最後に全国に17基の存在が知られ、群馬県と共に6基が知られている「禁芸術売買碑」と全国に77基、山形県に7基ある「宮亀年」の話で締めくくられました。

小林氏は実際に下張りを剥がす実習で何枚も下張りされたものをスチームを使って丁寧に剥がす方法を学びました。現れる文字にドキドキしながらの体験でした。

## ●第XⅡ期うきたむ学講座のご案内

### 1. 趣 旨

置賜地方の原始・古代・中世・近世の歴史や民俗・自然について理解を深めると共に、置賜地域の歴史・民俗・自然・文化財保護関係諸団体の活動について情報交換し、置賜地方の文化・自然遺産保護思想啓蒙に資する。

### 2. 主 催 うきたむ学講座実行委員会

### 3. 共 催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

### 4. 講座の実施日・内容

第1回講座：平成31年1月13日(日) 13:00-16:00

開講式(実行委員長開講の辞・主催者挨拶)13:00-13:15

「戊辰戦争150年」をテーマとして

講座①「米沢藩の軍制改革－西洋流砲術導入をめぐる諸問題について－」

布施賢治氏(米沢女子短期大学)

13:20-14:30

講座②「東北から見た戊辰戦争

」 渡部 幸雄氏

14:45-15:55

第2回講座：平成31年2月10日(日) 13:00-16:00

主催者挨拶(実行委員長)13:00-13:10

講座③「高島町周辺の鉱物と鉱山」

五十公野裕也氏(山形大学理学部)

13:10-16:00

第3回講座：平成31年3月3日(日) 13:00-16:00

主催者挨拶(実行委員長)13:00-13:10

置賜の伝統的地場産業をテーマとして

講座④「やまがたの無形文化財 深山和紙～守り伝えるための地域づくり～」

高橋 信博氏(山形県置賜総合支庁)

13:10-14:30

講座⑤「白鷹紬～生業(なりわい)について～」

守谷 英一氏(東北芸術工科大学)

14:45-15:55

閉講式(実行委員長閉講の辞・主催者挨拶)

### 5. 会 場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

### 6. 対 象 一般

### 7. 参加費 600円(3回で1,800円)

## 👤 2018年度山形の考古資料検討会のご案内

例年同様、今年度も山形考古学会と共催で開催いたします。今年は国道113号線の高規格道路の建設に伴い(公財)山形県埋蔵文化財センターによって川西町で2遺跡の調査が行われ、米沢市では昨年度から継続の大規模発掘調査に加え、縄文中期末の大規模な集落遺跡の調査が実施されるなど、新たな資料が蓄積されてきています。

今年度は下記の要項で開催いたします。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

1. 事業名称 山形の考古資料検討会
2. 開催期日 平成30年2月3日(日)午後1時30分から午後4時00分
3. 開催趣旨 平成30年度に県内で行われた発掘調査やこれまでに発掘された資料について関心を高めるとともに、考古学の進展、文化財保護の気運の醸成をはかることをねらいとして開催するものである。
4. 会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室
5. 主催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
6. 共催 山形考古学会
7. 内容(予定)

### 【基調報告】(報告20分・質問5分)

「2018年県内の発掘調査の概要」

山形県教育庁文化財・生涯学習課

### 【調査報告】(順不同)(発表20分・質問5分)

- |                     |              |        |
|---------------------|--------------|--------|
| 「大南遺跡」(米沢市)         | 米沢市教育委員会     | 佐藤公保 氏 |
| 「南森遺跡」(南陽市)         | 南陽市教育委員会     | 角田朋行 氏 |
| 「上屋地B遺跡」(飯豊町)       | 飯豊町教育委員会     | 高橋 拓 氏 |
| 「日向洞窟遺跡範囲確認調査」(高畠町) | 高畠町教育委員会     | 水口 哲 氏 |
| 「日向洞窟遺跡とその周辺」(高畠町他) | 日向洞窟遺跡調査団    |        |
| 「八幡西遺跡」(川西町)        | 山形県埋蔵文化財センター | 菊池玄輝 氏 |
| 「花沢a遺跡」(米沢市)        | 米沢市教育委員会     | 佐藤智幸 氏 |
| 「大南遺跡」(米沢市)         | 米沢市教育委員会     | 佐藤公保 氏 |
| 「日向洞窟西地区遺跡」(高畠町)    | 東北芸術工科大学     | 長井謙治 氏 |
| 「裏山I遺跡」(飯豊町)        | 飯豊町教育委員会     | 高橋 拓 氏 |

# 東北情報館



## 企画展 『歴史の扉—江戸時代の訴訟—』

入館料 一般／700円 学生／380円 小中学生／280円  
1月18日～3月13日 致道博物館 TEL: 0235-22-1199



## 企画展 『ますむらひろし展—アタゴオルと北斎と賢治と—』

入館料 一般／1000円 高大学生／600円 小中学生／400円  
1月3日～2月17日 岩手県立美術館 TEL: 019-658-1711  
※水野哲氏製作の火炎土器(当館保管)が展示されます。



## テーマ展3 『縄文人のセンス—貝鳥貝塚出土の装身具—』

入館料 一般／300円 高大学生／200円 中学生以下／無料  
1月26日～3月24日 一関市博物館 TEL: 0191-29-3180



## 一般公開記念企画展 『すべてはここから始まった

—三内丸山遺跡の熱い3年間—』

入館料 無料  
11月22日～2月24日 三内丸山遺跡縄文時遊館 TEL: 017-781-6078



## 企画展 『発掘された五所川原の遺跡』

一般・大学生／300円 高校生以下／無料  
11月9日～2月24日 立佞武多の館 TEL: 0173-38-3232



## 巡回展 『縄文の造形美—六反田南遺跡と火焰型土器—』

入館料 無料  
12月21日～3月24日 新潟県埋蔵文化財センター TEL: 0250-25-3981